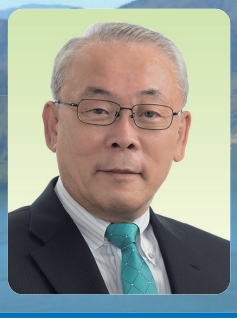
心がかよう豊かな地域づくりと 市民のための市政をめざして



舞鶴市議会議員

今西かつみ 通信

第 8 号
令和４年６月発行
今西かつみ後援会事務局
〒624-0102
舞鶴市字志高1217番地
TEL･FAX:0773-83-0760
ホームページ･フェイスブック:
http://www.imanishi-katsumi.net
E-mail:
asuka645-1123@nike.eonet.ne.jp

ご　挨　拶

皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も、行政、医療関係者皆様のご尽力により感染拡大を抑制しながらの毎日を過ごさせていただいています。今後は、感染症と向き合う中での日常生活や、各種事業の継続との両立を図っていくことが大事であると考えます。そのような中、今西かつみ並びに今西かつみ後援会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

今西克己、皆様方より絶大なるご支援をいただき、議員活動８年目を歩ませていただいております。初心を忘れず、現地現場主義を貫き、地域の皆様と共に課題の解決に向けて、皆様に豊かさを感じていただける社会になりますよう、より一層精進し、頑張ってまいります。

どうか引き続き、変わらぬご指導と、ご教示を賜りますようお願い申し上げます。

今 西 かつみ

舞鶴市議会２期８年目における所属・担当のご紹介

① 会派　新政クラブ議員団
② 常任委員会　産業建設委員会　委員長
　常任委員会　予算決算委員会　委員
③ 広報会議　FM放送部会　委員
④ 山陰新幹線京都北部ルート誘致促進舞鶴市議会議員連盟

新政クラブ議員団

令和４年３月 定例会開催　一般会計補正予算の概要（抜粋）

大雪による雪害支援や保育士等処遇改善臨時特例予算等を可決

農業生産施設緊急復旧対策事業費補助金　34,600千円

令和3年12月26日以降の断続的な大雪により、舞鶴市内においても多くのパイプハウスの倒壊や茶園施設の破損等、農業設備に甚大な被害を受けた。京都府と連携して、雪害からの復旧支援を行い農業経営の再建を図る。

保育士等処遇改善臨時特例事業費　7,215千円

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる保育・幼児教育の最前線において働く方々の収入の引き上げを行うもので、保育士不足の解消を図るとともに、質の高い教育・保育体制の充実を図る。

交通系ICカードを活用した環境の好循環事業費　11,000千円

東、西舞鶴駅で利用が可能となった交通系ICカード「ICOCA」の普及拡大による鉄道の利用促進と、新たな生活様式に対応した「非接触」「キャッシュレス化」の促進を図る。

北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金　15,843千円

京都丹後鉄道の安定的な運行による地域交通の維持・確保を図るため、同鉄道の運行会社に対して、沿線自治体（2府県及び5市2町）による協調支援を行う。

放課後児童健全育成事業費　652千円

舞鶴市内の放課後児童クラブに勤務する放課後児童支援員を対象に、令和4年2月から収入を3%程度引き上げるための処遇改善を独自に実施する。

舞鶴市議会

令和４年度 当初予算

ビヨンド・コロナ社会の構築を見据えた持続可能な予算編成

感染症対策を最重点に、「ITを活用した心が通う便利な田舎暮らし」の実現！

子育て、教育、医療、福祉、防災、地域経済の活性化などに戦略的に取組む

豊かな自然、歴史、文化、特色ある教育、充実した子育て環境などの地域資源を最大限に生かし、心の豊かさが享受できるまちづくりを推し進めるとともに、人口減少や少子高齢化への対応など社会課題に柔軟に対応し、将来世代の負担を抑制し、経済事情の変動や災害などにもしっかりと対応できる体制を整え、健全で持続可能な財政基盤を将来世代に引き継ぐため、前年度よりも増額した予算としつつも、財政規律を働かせた戦略的な予算編成としている。

① 心豊かに暮らせるまちづくり
② 安心のまちづくり
③ 活力あるまちづくり

本会議場にて

令和４年度　舞鶴市当初予算額（抜粋）

		令和3年度との予算額比	
○ 一般会計予算	３５９億５，１５９万円	伸び率	０．３％
特別会計予算	３０１億６，７７６万円	同	△０．３％
総　　額	６６１億１，９３５万円	同	０．０％

○ 令和4年度予算の重点事項（抜粋）
- 自治体デジタル・トランスフォーメーション推進事業　３１，５００千円
- 多世代交流による地域づくり推進事業　５，４５０千円
- 赤れんがパーク等整備事業費　１０４，８３４千円
- 共助による移動手段（meemo）確立に向けたMaaS推進事業　１２，３００千円
- 障害者地域生活支援事業　１２１，３３１千円
- 高齢者外出支援事業　１９，１０５千円
- 公私連携幼保連携型認定こども園等整備事業　９８，４２０千円
- 保育所・認定こども園運営事業（全体）　２，２７７，６７９千円
- 放課後児童健全育成事業　１３４，６３５千円
- 救急医療体制の確保に向けた取り組み　８８，０７８千円
- 万願寺甘とう振興事業　２１，１１１千円
- 茶業振興対策事業　１，３００千円
- 有害鳥獣被害防止対策事業　６９，２９９千円
- 道路施設長寿命化事業　１５３，０００千円
- 河川整備事業　７８，５００千円
- 西消防署整備事業　１１７，０００千円　etc

ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議を可決

舞鶴市議会では、３月定例会最終本会議において全会一致で非難決議を可決しました！

決議文

去る2月24日、ロシアによるウクライナへの軍事による侵略が開始された。武力による国の主権や領土の侵害、人々の生命、自由を奪う事態は、いずれの国や地域、いかなる理由があろうとも、国際社会においては、断じて許されるものではない。さらにロシアが核準備態勢の強化を決定したことについても断じて許されるべきものではなく、唯一の核兵器被爆国として、国際社会とともに強く非難し抑止させるべきである。

このような力による一方的な現状変更の試みは、明らかな国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがす行為を実行するロシアに対し、最も強い言葉で厳しく非難する。よって、国においては、在留邦人の安全確保に全力で取り組むとともに、国際社会と連携し、ロシアに対する制裁措置の徹底と強化を図り、軍の即時撤収を求めることを強く要請する。

舞鶴市議会においては、本市の市是である「平和産業港湾都市」に基づき、世界平和の実現に向けて、国際社会が一体となって全力で取り組むべきであることを、ここに訴える。　　以上、決議する。

議員活動の原点

平成26年11月、多くの皆様方からご支持ご支援を受け舞鶴市議会に送り出していただきました。以来、8年間、舞鶴市発展のために一人でも多くの皆様のお声を聞かせていただくために地域を歩かせていただきました。

公約のひとつである防災体制の強化について振り返ってみたいと思います。由良川流域を生活圏とする私の住む加佐地域は、平成25年から相次ぐ台風の襲来、豪雨等により災害救助法の適用を受けるなど、甚大な被害を幾度となく被り、心の折れそうな日常生活の中、地域住民の皆様と共に防災・減災に向け取組んでまいりました。この間、急傾斜地、中小河川、由良川本川等の整備、輪中堤、宅地嵩上げ等の整備を舞鶴市をはじめとする国府の関係機関と検証、協議する中で進めていただき、水防災、治水対策の完了に向け共に尽力してまいりました。

未だ、道半ばではありますが、今後もその整備の歩みを止めることなく関係機関とより強く連携し鋭意頑張ってまいります。

西脇京都府知事と
於：京都府庁

議会 一般質問で多々見市長に問う！

一般質問

1. 加佐診療所について

Q 加佐診療所の現状を伺う

加佐地域にはなくてはならない地域医療、へき地医療を担っていただき、現在、常勤医師１名とそのスタッフにより土日祝日を除き毎日診療を行っていただいている。過疎高齢化が進み、受診者数の減少と慢性期医療が主体となる診療報酬等の厳しい診療所運営に関わらず本市のご支援により運営いただいていることに感謝している。現在の受診状況と診療内容を伺う。

A 現在、月曜日に整形外科外来、火曜日から金曜日は内科外来及び往診などに対応しているが、過疎化、高齢化を背景として患者数は減少している。それに伴い収益も減少し、ここ数年は約3,500万円の収支差額が生じており、市の一般会計からの繰り入れにより対応するなど、診療所の運営は依然として厳しい状況にあるが、地域に所在する唯一の医療機関として必要な医療の提供に努める。

Q 在宅医療の往診・看取りについて伺う

現在、常勤の内科医を配置していただき毎日診療を行っていただき、平成27年からは地区内で様々な病気や高齢化に伴い通院できない患者さんに往診といった形で担っていただいている。今後益々必要とされるこの医療ニーズに、また、病気を持つ高齢者の多くは住み慣れた環境での病気治療を望まれており、家族と患者さん双方が望まれる時には在宅看取りの選択肢があると思うが本市の考えを伺う。

A 在宅医療の往診については、直近３ケ年における１月当たりの平均件数は６件となっている。また、患者ご本人やご家族から、住み慣れた自宅での看取りを希望されるケースが増えてきており、高齢化が顕著な加佐地域においてはこのようなニーズは今後も増えるものと推測される。医療的見地など可能な範囲で意向に添った対応ができるよう、往診の強化も含め在宅医療の充実を支援していく。

Q 生活圏を同じくする福知山市民病院大江分院との医療連携を問う

由良川流域を生活圏とするこの加佐地域は、地域特性に合った医療の提供を望んでいる土地柄でもあり、さらに在宅医療を見据えたこれから先の時代は、限られた医療資源の中での連携が必要と考える。

舞鶴市と福知山市という異なる自治体間での新たな医療のネットワークの構築になるが、地域の患者は地域のみんなで支えるという認識のもと、この地域での医師同士の連携は必要不可欠と考え、大江分院と加佐診療所との相互連携が必要と考えるが本市の考えを伺う。

A 大江分院は、在宅医療の強化や総合診療医の養成に積極的に取り組んでおられ、連携を通じて、単に時間外の対応にとどまらず入院の受入れなどについても補完し合えれば、地域で生活する住民の皆さんにとっては選択肢が増え、安心材料になると考える。実際、連携を通じて時間外も含めた在宅での看取りの態勢がとれた事例、また、市民病院で入院受入れに対応できなかったケースに大江分院で対応いただいた事例もある。住民目線に立った地域包括ケアを推進していくためにも、大江分院との連携は欠かせず今後も連携を深めていく。

2. 有害鳥獣対策について

Q ツキノワグマ対策を伺う

京都府内に分布するツキノワグマ個体数は、府の調査によると令和２年度での推定生息数は丹後個体群で約990頭、丹波個体群で約650頭まで増えている。本市及び本市周辺の自治体においても毎年目撃件数が多い状況が続いている。府内においても３件の人身被害が発生している現状から本市の対策を問う。

A 京都府では、これまで保護を前提としていた第一種特定鳥獣保護計画から、第二種特定鳥獣管理計画へと変更された。市民生活が脅かされる可能性があれば、京都府や警察など関係機関との連携のもと、安全対策を行うとともに、危険個体の駆除を行うなど人身被害が発生することがないよう取り組んでいく。

国土交通省福知山河川国道事務所長に要望書提出！

由良川下流部治水対策要望書を本田太郎衆議院議員、池田正義京都府議会議員と共に要望

下流部流域においては、国の直轄事業として進めていただいておりました緊急水防災対策や、現在強力に推進いただいております緊急治水対策による「輪中堤」等の整備効果により被害の抑制が図られていますが、一方で、樋門を閉じることにより堤内に流れ込む中小河川からの内水が発生し、農地、住家に被害が出ています。このような中、昨年７月、加佐区長連合会長様ほか役員の皆様と、本田太郎衆議院議員、池田正義京都府議会議員を紹介議員として国交省福知山河川国道事務所長に対し地元の声を強く届ける要望書を提出し改善をお願い致しました。

国交省福知山事務所長に要望書の提出

加佐地区共通要望事項（抜粋）

○水防災対策（輪中堤・宅地嵩上）後の内水対策、及び由良川の浚渫等について

○主要地方道路冠水時の救急救命対策について

由良川下流部においては、近く完成する下東・三日市輪中堤を含め６ケ所の輪中堤が整備されています。しかしながら、堤内に中小河川からの内水による被害が発生している現状を踏まえ、排水ポンプの設置など内水対策の早期実現、また、3年前の豪雨時に主要道路が冠水し地域が孤立した際に岡田地区で要救助者が発生、自衛隊のヘリコプターに救助の要請、さらに同年には神崎地区においても同様の救急出動の要請があったことから由良川下流部にドクターヘリの発着場の確保、併せてエンジン付き救助ボートの常備常設等を要望したものです。

加佐地区公民館長、区長が舞鶴市長、京都府中丹広域振興局長に要望書を提出！

加佐35地区の代表として、各地区公民館長、区長さんが舞鶴市長、京都府中丹広域振興局長、中丹東土木事務所長さんに各地域の要望書を提出していただきました。提出に際しましては、池田正義京都府議会議員さんに紹介議員として同席していただきました。

舞鶴市役所にて多々見良三市長に要望書を提出

油江・蒲江地区に護岸整備着手！

油江・蒲江両地区から出されていました由良川本川の護岸整備要望は、本田太郎衆議院議員のお力添えをいただき、令和2年第3次補正で予算を獲得していただきました。本年3月、蒲江地区上流部はすでに一部完成していただき、令和4年度は下流部の油江地区から工事着手していただきます。計画総延長1500メートルの予定です。

蒲江地区で一部完成した由良川護岸

今西かつみ 主な活動のひとコマご紹介！

令和4年1月、岡田上地区公民館長、各地区区長様が多々見市長を訪問されご挨拶！

令和4年1月、岡田中地区連合協議会長、各地区区長様、自治会長様が多々見市長を訪問されご挨拶！

令和4年3月、岡田下、神崎地区公民館長様、各地区区長様が多々見市長を訪問されご挨拶！

令和4年3月、八雲地区公民館長、各地区区長様が多々見市長を訪問されご挨拶！

護衛艦せとぎり帰国行事に出席いたしました。ソマリア沖アデン湾での海賊対処活動に心からの敬意を表します。

由良川緊急治水対策（舞鶴市域）完成式典に出席いたしました。引き続き地域の防災・減災に向け尽力してまいります。

加佐活性化センター開所！地域機能の更なる強化を目指し地域、農業振興に努めていただきます！

舞鶴市議会では、「市民と議会のわがまちトーク」の意見交換会を開催いたしました。皆様からいただきました貴重なご意見を市政に反映させてまいります。

目指せ舞鶴茶「日本一！」コロナ禍の影響を受けここ2年ほどかぶせ茶の手摘みができませんでしたが、今年は一芯二葉の手摘みを実施していただきました。

時事ひと言

今年の春から加佐地域において、国の特別天然記念物のコウノトリが営巣を行っていました。地域住民皆様の温かい見守りが続く中、コウノトリの郷公園（豊岡市）から「ペアは姉弟で近親婚による繁殖はコウノトリの長期的な存続に悪影響を及ぼす可能性があり回避する必要があります。」とのことで、野生での生育は望ましくないことから巣と卵の撤去となりました。コウノトリに対する地元の皆様の強い思いを受け舞鶴市は、「来年は地元住民やコウノトリの郷公園と連携して人工巣塔の新設や、近親婚にならないペアリングへの対応も検討していきます。」とのことでした。来年こそはこの加佐の地で舞鶴第1号が飛びたつのを見たいものです！

活動等のご報告等は、その都度、今西かつみ後援会のホームページとフェイスブックでより詳しくご紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

各地域を回らせていただいております。ご意見、ご要望等お伺い致します。今西かつみ

facebook 今西かつみ 随時更新中!!